

プログラム

12月7日(土)

第1会場(講堂 大ホール)

9:00~9:10 開会式

9:10~10:10 学術大会長講演

地域から広げる国際保健のひとづくり

座長: 高木 史江 (一関市国民健康保険藤沢病院)

演者: 堀 浩樹 (三重大学大学院医学系研究科)

10:20~12:00 特別企画1

多様化するグローバルヘルス課題解決に向けたAMED研究事業の挑戦
~エビデンスと実装化をつなぐための研究~

座長: 遠藤 弘良 (聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科)

明石 秀親 (国立国際医療研究センター国際医療協力局)

演者: 野田 正彦 (日本医療研究開発機構国際事業部)

谷口 清州 (国立病院機構三重病院臨床研究部)

菖蒲川由郷 (新潟大学大学院医歯学総合研究科国際保健学分野)

川上 憲人 (東京大学大学院医学系研究科)

堤 敦朗 (金沢大学国際機構人間社会環境研究科)

13:00~14:10 特別講演1

次世代型粘膜ワクチンによる感染症予防・治療戦略

座長: 中野 貴司 (川崎医科大学総合医療センター)

演者: 清野 宏 (カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部・東京大学医科学研究所・千葉大学大学院医学薬学府)

14:15~16:05 特別企画2 英語セッション

WHO - Global initiative for childhood cancer

座長: 岡本 康裕 (日本小児がん研究グループ国際委員長・鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

七野 浩之 (国立国際医療研究センター病院)

演者: 春山 怜 (国立国際医療研究センター国際医療協力局)

渡辺 和代 (Asian Children's Care League)

丸 光恵 (甲南女子大学看護リハビリテーション学部)

嘉数真理子 (NPO法人ジャパンハート)

16:10~18:00 シンポジウム4 英語セッション

高等教育機関における国際保健医療教育: 海外から見た日本の状況

座長: 小川寿美子 (名桜大学健康科学部)

櫻井 洋至 (三重大学大学院医学系研究科)

演者: James Chipeta (ザンビア・ザンビア大学医学部)

Rodrnick Richard Kisenge (タンザニア・国立ムヒンビリ病院)

Charnchai Panthongviriyakul (タイ・コンケン大学医学部)

武田 裕子 (順天堂大学医学部)

10：20～10：50 日本国際保健医療学会奨励賞受賞講演

ブルンジ共和国における医療施設での出生記録取得と産後ケア受療率の向上に関する
母子健康手帳の効果

座長：杉下 智彦 (東京女子医科大学医学部)

演者：金子 佳世 (名古屋大学大学院医学系研究科国際保健医療学)

11：00～12：00 教育講演

国際保健医療における研究倫理審査と研究成果の公表
～フィールド経験の説得力ある発表のために～

座長：曾根 智史 (国立保健医療科学院)

演者：柳澤 理子 (愛知県立大学看護学部)

三浦 宏子 (国立保健医療科学院国際協力研究部)

高橋 謙造 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

12：00～13：00 総会 (代議員会)

13：55～15：55 シンポジウム2

Social determinants of health：地域にある国際保健医療活動

座長：武田 裕子 (順天堂大学医学部)

土屋 宏人 (東京都立小児総合医療センター)

演者：山本 梨沙 (順天堂大学医学部)

沢田 貴志 (港町診療所)

新居みどり (NPO法人国際活動市民中心 CINGA)

武田 裕子 (順天堂大学医学部)

16：00～18：00 シンポジウム3

外国人も住民です！外国人からみた日本の地域医療の課題

(日本渡航医学会・国際臨床医学会・日本国際保健医療学会協力シンポジウム)

座長：中村 安秀 (甲南女子大学看護リハビリテーション学部)

伊藤 美保 (医療通訳者ネットワーク東海)

演者：ワキモト隆子 (三重大学医学部附属病院／医療通訳者)

江洲 明美 (ブラジリアンコミュニティ翻訳者協議会／医療通訳者)

村松 紀子 (医療通訳研究会 [MEDINT]／社会福祉士)

ルルデス・エレラ (大手前大学／看護師)

小笠原理恵 (大阪大学大学院人間科学研究科／大学教員)

9:00～10:55 シンポジウム1

看護師の国境を超えての移動 - 看護資格の多国間相互承認とその影響 -

- 座長：藤田 則子 (国立国際医療研究センター連携協力部)
 水谷真由美 (三重大学大学院医学系研究科看護学専攻)
 演者：山田 順子、勝間 靖 (早稲田大学)
 松岡 貞利 (国立国際医療研究センター)
 虎頭 恭子 (東京大学大学院医学研究科 国際地域保健学教室 博士後期課程)
 安田 直史 (近畿大学社会連携推進センター)

11:00～13:00 学生部会1

地域医療の中の外国人

- 座長：川崎 千春 (帝京大学医学部3年)
 演者：沢田 貴志 (港町診療所)

15:00～17:00 学生部会2

助産師の役割と限界 ～妊産婦自身の力を引き出すために必要なこと～

- 座長：森田 智子 (東京女子医科大学医学部3年)
 演者：福澤利江子 (筑波大学医学医療系)

17:05～18:00 jaih-s 総会

9:20～10:00 一般口演1「外国人保健1」

- 座長：北島 勉 (杏林大学 総合政策学部)
- | | | |
|-------|---|-------|
| 001-1 | 外国人の受診行動に関する文献レビュー | 中田えいみ |
| 001-2 | ブラジル人患者が同伴した通訳者が介在した診療場面の調査の試み | 濱井 妙子 |
| 001-3 | 開発途上国から来日する外国人の外部医療機関の受診状況からみる健康問題と健康支援のあり方 | 佐藤 優子 |
| 001-4 | 国立国際医療研究センター病院における外国人診療の課題と対応 | 杉浦 康夫 |

10:00～10:40 一般口演3「母子保健1」

- 座長：三砂ちづる (津田塾大学 学芸学部)
- | | | |
|-------|---|-------|
| 003-1 | ロシアにおける母子手帳作成支援：編集過程と課題 | 柴沼 晃 |
| 003-2 | グアテマラにおける妊娠期の食事及び補完食に関する視覚教材の有用性について | 野末 みほ |
| 003-3 | ブラジルからの第三国専門家を活用した、エルサルバドル国立女性病院の人的出産に関するセミナーの評価 | 笹川 恵美 |
| 003-4 | ラオスの「赤ちゃんにやさしい病院」で経膈または帝王切開で出産した初産婦の母乳育児への自信を高める介入の効果 | 名西 恵子 |

11:00～12:30 国境なき医師団日本プログラム

国際人道援助とイノベーション

演者：井上理咲子（国境なき医師団日本）

久留宮 隆（国境なき医師団日本）

鈴木 基（国境なき医師団日本）

中島 優子（国境なき医師団日本）

13:00～13:50 一般口演5「老年保健1」 英語セッション

座長：村上 仁（国立国際医療研究センター 国際医療協力局）

- | | | |
|-------|--|-------------------|
| O05-1 | Determinants of prehypertension and hypertension among public employees in northern Ethiopia | KM Saif-Ur-Rahman |
| O05-2 | Association between the density of smokers in the family and the prevalence of adolescents' tobacco smoking | Odmaa Ganzorig |
| O05-3 | Association of blood pressure and blood glucose levels with age among middle-age urban dwellers in Bangladesh and Ethiopia | Yupeng He |
| O05-4 | Vegetable, Fruit consumption and Stomach Cancer: a Case-control Study in North Viet Nam | Hong Phuoc Le |
| O05-5 | Helicobacter pylori infection and the risk of stomach cancer | Tran Ngoan Le |

15:00～16:00 一般口演7「地域保健」

座長：中澤 港（神戸大学大学院 保健学研究科）

- | | | |
|-------|--|-------|
| O07-1 | ミャンマーにおける輸血投与時の感染対策の現状 | 小土井 悠 |
| O07-2 | アジア地域におけるHIVに対する知識と受容的態度: Demographic Health Survey の二次分析 | 野崎威功真 |
| O07-3 | カンボジアの農村部に在住する地域住民における健康課題に関する研究 | 野々垣晶代 |
| O07-4 | 北部ザンビアにおける母子保健推進員 (Safe Motherhood Action Group, SMAG) の持続性: 妊産婦・新生児保健ワンストップサービスプロジェクト終了後のアセスメント結果から | 浅村 里紗 |
| O07-5 | 日本の母子保健推進員の活動にもとづく途上国における地域保健活動の取り組み | 腰原 亮子 |
| O07-6 | インドネシア・アイルランガ大学における透析治療の質改善の試み | 浦部 大策 |

17:00～18:00 一般口演9「UHC」

座長：勝間 靖（早稲田大学 アジア太平洋研究センター）

- | | | |
|-------|---|-------|
| O09-1 | ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) をめぐるグローバルヘルス外交—UHCフォーラム2017から、G20大阪サミット、国連UHCハイレベル会合へ— | 勝間 靖 |
| O09-2 | UHC達成3カ国の保健医療サービス整備過程に関する比較検討 - 特に保健人材に焦点を当てて - | 明石 秀親 |
| O09-3 | ラオス・ボーリカムサイ県におけるNCD診断・管理の現状とその経済的な負担状況 | 伊藤 智朗 |

009-4	セネガル国JICAコミュニティ健康保険制度強化プロジェクトにおける保健共済組合に対するスーパービジョン強化の取り組み	渡邊 潤
009-5	ミャンマーにおける高齢者の医療アクセスの分析	大原佳央里
009-6	ザンビア共和国における産後出血 (Postpartum Hemorrhage : PPH) 管理能力強化のためのカスケード研修システムの有用性の検討	横堀 雄太

第5会場 (看護学科棟 第2講義室)

9:20～10:00 一般口演2「医療政策1」

座長：青山 温子 (名古屋学芸大学)

002-1	ミャンマーの臨床現場における安全な輸血の管理について	伊藤 由衣
002-2	フィリピンでの効果的な避妊法の普及	永井 真理
002-3	ミャンマー看護師のモチベーションと定着に関する研究	安田 直史
002-4	5S-KAIZEN-TQM活動の実践継続に影響を与えたと考えられる要因-カンボジア タケオ州病院における経験からの考察-	菊池 識乃

10:00～10:30 一般口演4「人材・教育1」

座長：山本 秀樹 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

004-1	海外の日本人医学生への医学教育 ～ハンガリーの医学部カリキュラムを参考に～	佐伯壮一郎
004-2	岸和田市医師会看護専門学校における外国人医療を見据えた「英語」科目の新たな取組み	小笠原理恵
004-3	国際保健分野における研究能力強化の取り組み - クラスタ・サンプリングに取り組んだ10年間 -	蜂矢 正彦

14:00～14:50 一般口演6「人材・教育2」

座長：大西真由美 (長崎大学 医歯薬学総合研究科)

006-1	HIV/エイズ教育の効果的な実施要因の探求-タイの学校を基盤としたプログラムの事例-	千葉 美奈
006-2	ボリビア国JICAオルロ県母子保健プロジェクトにおける母子ケアのコンピテンス改善事業のインパクト評価	湯浅 資之
006-3	JICA 課題別研修「アフリカ地域 地域保健担当官のための保健行政(A)」のフォローアップ	神田 浩路
006-4	ソロモン諸島国におけるヘルス・プロモーション・スクールの試み-健康課題解決に向けての健康教育教材の提供-	橋本 節子
006-5	タンザニア農村部の小学生に対する移動図書館型の思春期教育の効果	新福 洋子

16:00～17:00 一般口演8「母子保健2」

座長：岩本あづさ (国立国際医療研究センター 国際医療協力局)

008-1	人生最初の1,000日の重要性：第11回母子手帳国際会議からのメッセージ	小松 法子
008-2	内陸開発途上国の食の多様性と栄養障害 マラウイとラオスの事例	足立 基

008-3	2歳未満児母親の乳幼児の食事に関する養育行動は児の月齢とともに悪化する：JICA 草の根技術協力事業報告「カンボジア王国プレアビア州における子どもの栄養改善1000日アプローチ」	巢内秀太郎
008-4	母子継続ケア実現のためのポータブル・ヘルス・クリニックについて	菊地 君与
008-5	バングラデシュ農村における妊娠・出産経験の変容	松岡 悦子
008-6	ブルンジ共和国における母子手帳使用と出生登録証明書保有の関連	金子 佳世

示説会場 (講堂 ホワイエ)

16:00～16:20 ポスター発表1「医療政策1」

座長：北島 勉 (杏林大学 総合政策学部)

P1-01	日本語学校留学生のHIV検査に関する知識と利用とその関連要因に関する研究	北島 勉
P1-02	Knowledge and Perception towards HIV/AIDS-associated High Risk Behaviors and HIV Testing among Congolese Teenagers: Need to Reinforce STI Prevention Strategies	Ngatu Nlandu
P1-03	紛争後平和構築における保健人材開発—ルワンダと東ティモールの事例検討—	江口 昌代
P1-04	モンゴル国立第3病院での活動と今後の研究について	竹内 寛貴

16:20～16:40 ポスター発表2「地域保健」

座長：高橋 謙造 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

P2-01	Healthy lifestyle index and its association with hypertension among community adults in Sri Lanka: cross-sectional study	Ami Fukunaga
P2-02	東アジア地域における認知症高齢者を介護する家族の介護負担感の文献レビュー	田中 文
P2-03	東ティモール山岳地の人々の健康を支える保健ボランティアの育成	中島佳世乃
P2-04	ラオスのトイレ保有者はタイ肝吸虫とメコン住血吸虫の虫卵陽性率が低かった	松本-高橋 エミリー

16:40～17:00 ポスター発表3「人材・教育」

座長：田宮菜奈子 (筑波大学 医学医療系)

P3-01	保健人材開発システム分析モデル“House Model”を活用した研修の効果と方向性	深谷 果林
P3-02	タンザニア農村部の小学生の希望とリプロダクティブヘルスの認識	新福 洋子
P3-03	タンザニア農村部の小学生の問題解決意欲と学習効果	新福 洋子
P3-04	インドネシア人看護師の業務実態と、インドネシア人看護師の海外就労に関する思い—経済連携協定 (EPA) による看護師候補者支援の検討—	市川 暢恵

第二生協

18:00～20:00 懇親会

9:00～10:00 基調講演

脱平均：個性が光る国際保健のために

座長：杉下 智彦（東京女子医科大学医学部）

演者：神馬 征峰（日本国際保健医療学会理事長・東京大学大学院医学系研究科）

10:05～12:00 特別企画3

地域で活動する医療者による多様な国際貢献 ～ 個の活動から組織的活動へ ～

座長：坂本真理子（愛知医科大学看護学部）

成島 三長（三重大学医学部附属病院）

演者：山崎 俊（NPO法人タンザニア眼科支援チーム・山崎眼科）

夏目 長門（愛知学院大学歯学部）

小原ひろみ（国立国際医療研究センター国際医療協力局）

窪田 昭男（月山チャイルドケアクリニック）

12:05～13:00 ランチョンセミナー

国際医療協力と企業の社会貢献

座長：中村 安秀（日本WHO協会理事長・甲南女子大学看護リハビリテーション学部）

演者：更家 悠介（サラヤ株式会社社長）

14:00～16:00 特別講演2(市民公開講座)

座長：神馬 征峰（日本国際保健医療学会理事長・東京大学大学院医学系研究科）

堀 浩樹（第34回日本国際保健医療学会学術大会長・三重大学大学院医学系研究科）

開発が進むAlGaN系半導体による深紫外線発光素子とその応用

演者：天野 浩（名古屋大学）

無電化地域へのソーラーランタンプロジェクト

演者：小川 理子（パナソニック株式会社・アプライアンス社）

16:20～16:30 閉会式/表彰式

9:00～10:30 シンポジウム5

地域医療実践の国際展開：地域からの人づくり

座長：中村 安秀（甲南女子大学看護リハビリテーション学部）

豊田 秀実（三重大学大学院医学系研究科）

演者：スマナ・バルア（星槎大学）

蓮見 純平（佐久総合病院）

小田 遼平（佐久総合病院）

向原 千夏（滋賀家庭医療学センター）

10：35～12：05 シンポジウム7

持続可能な開発目標 (SDGs) における保健と貧困対策

座長：池上 清子 (長崎大学熱帯医学グローバルヘルス研究科)

演者：村上 仁 (国立国際医療研究センター国際医療協力局)

濱田 憲和、曾我 建太 (公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン)

沢田 貴志 (SHARE 国際保健協力市民の会)

13：00～14：00 緊急報告セッション

コンゴ民主共和国 エボラ流行特別報告2

座長：谷口 清州 (国立病院機構三重病院臨床研究部長)

演者：仲佐 保 (国立国際医療研究センター・国際協力機構)

第3会場 (看護学科棟 第3講義室)

9：00～10：55 シンポジウム6

地域住民の気づきを促し力を引き出す看護の役割と課題

—開発途上国における実践経験から—

世話人：李 錦純 (関西医科大学看護学部)

黒瀧安紀子 (京都橘大学看護学部)

宮本 純子 (姫路大学看護学部)

高橋美沙子 (関西医科大学看護学部)

*国際地域看護研究会

座長：李 錦純 (関西医科大学看護学部)

黒瀧安紀子 (京都橘大学看護学部)

演者：神原 咲子 (高知県立大学看護学部)

水谷真由美 (三重大学大学院医学系研究科看護学専攻)

中里 祥子 (関西医科大学看護学部)

安田 直史 (近畿大学社会連携推進センター)

12：00～13：30 JICAプログラム

保健医療分野の国際協力キャリア相談会～国際協力を仕事に～

企画：独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

協力：国立国際医療研究センター

16：30～18：00 自由集会3

地域で支える外国人診療・三重県の事例から

主催者：沢田 貴志 (港町診療所)

二見 茜 (東京医科歯科大学医学部附属病院 国際医療部)

第4会場 (看護学科棟 第1講義室)

9:00～9:30 一般口演10「外国人保健2」

座長：柳澤 理子（愛知県立大学）

- | | | |
|-------|---|-------|
| O10-1 | 日本在住外国人の在住期間と健康損失：若年の健康損失はより早くより大きい増大比か | 小堀 栄子 |
| O10-2 | 三重における外国籍児童のメンタルヘルス | 柿元 真知 |
| O10-3 | 在日タイ人ボランティアグループの自立への取り組みの評価 | 横川 峰子 |

10:00～12:00 学生部会3

SDGs×企業 ～健康的な人と地域をつくる～

座長：山口 航（琉球大学医学部保健学科看護学専攻）

演者：杉下 智彦（東京女子医科大学 国際環境・熱帯医学講座 教授/講座主任） 他

13:00～14:00 一般口演14「地域保健・災害」 英語セッション

座長：松山 章子（津田塾大学 学芸学部）

- | | | |
|-------|---|----------------------|
| O14-1 | Impact of Eastern Congo Ebola Outbreak on Child Health Services: Decline of Routine Child Immunization and Need for Vaccine Supplementation | Ngatu R. Nlandu |
| O14-2 | What ignited Community Health Committees (CHCs) to engage in improving maternal and child health (MCH) in rural communities in Sudan? | Kei Yoshidome |
| O14-3 | Perceptions and behaviors related to non-communicable disease risk factors among male Bangladeshi workers in Palau. | Abubakr AA Al-shoabi |
| O14-4 | Women's Health and Cultural Factors: A Study of Anemia Cases in West Papua, Indonesia | Nova Sumihartini |
| O14-5 | Civil-Military Cooperation Through Pacific Partnership 2019 Vietnam | Hiroki Kyo |
| O14-6 | Factors associated with knowledge of avian influenza and biosecurity practices for backyard poultry among children in Bogor, Indonesia | Aki Suzuki |

第5会場 (看護学科棟 第2講義室)

9:00～9:40 一般口演11「医療政策2」

座長：湯浅 資之（順天堂大学 国際教養学部）

- | | | |
|-------|---|-------|
| O11-1 | 国際保健の現場と働き方改革 | 藤井 まい |
| O11-2 | エルサルバドル国における複数の病院前診療提供機関の合同による病院前救護基礎課程研修の実施結果の報告 | 舘野 広大 |
| O11-3 | 戦後沖縄における駐在保健師の育成に関する研究 | 當山 紀子 |
| O11-4 | バングラデシュ国コックスバザール県ウキア郡ロヒンギャ難民キャンプにおける診療支援の現状とデータベースによるモニタリングの有用性 | 坂田 大三 |

10:00～10:50 一般口演12「母子保健・政策」 英語セッション

座長：林 玲子（国立社会保障・人口問題研究所）

- | | | |
|-------|--|------------------|
| O12-1 | Causes of maternal deaths and their case fatality rates at Princess Christian Maternity Hospital, Free Town, Sierra Leone, from January 2017 to December 2018 | Yuichi Kodaira |
| O12-2 | MCH Handbook as a home-based record option for poor mothers and children in Afghanistan | Keiko Osaki |
| O12-3 | Japan's development assistance for health: a temporal, geographical, and focus-specific evaluation of bilateral and multilateral financial contributions, launching the <i>Japan Tracker</i> | Maaya Kita Sugai |
| O12-4 | A study on the motivation and retention of nurses and midwives in Myanmar | Ohnmar Aung |
| O12-5 | Assessments and treatments for dysphagia patients in southern Thailand
Comparison of the hospitals and future prospects | Aki Takagi |

11:20～12:00 一般口演13「人材・教育3」

座長：神原 咲子（高知県立大学）

- | | | |
|-------|----------------------------------|-------|
| O13-1 | 女性と助産師の関係性と助産師の定着—カンボジアのへき地農村の経験 | 阿部貴美子 |
| O13-2 | ASEAN諸国における学校精神保健の現状と比較 | 西尾 彰泰 |
| O13-3 | モンゴル国における医療者の接遇改善研修開発の試み | 七松 優 |
| O13-4 | モンゴル国における指導医講習会の成果 | 井上 信明 |

13:00～14:00 一般口演15「老年保健2」

座長：三浦 宏子（国立保健医療科学院）

- | | | |
|-------|---|-------|
| O15-1 | ミャンマーの都市部と農村部の高齢者の身体的障害と関連する因子の検討 | 茅原 祐紀 |
| O15-2 | ミャンマーの都市部と農村部の高齢者のうつリスクについて | 佐々木由理 |
| O15-3 | 日本・台湾・タイの成人男女における定年後の社会参加に対する認識 | 大澤 絵里 |
| O15-4 | ザンビア農村部における高血圧の現状と特徴 - 確率比例サンプリングを用いた住民調査 - | 立山由紀子 |
| O15-5 | ブータン王国内の高血圧リスクの背景要因分析：Bhutan-Non Communicable Diseases Risk Factors: STEPS Survey Bhutan 2014を用いて | 瀬川 裕美 |
| O15-6 | ミャンマーの都市部と農村部における高齢者の幸福感の決定要因 | 菖蒲川由郷 |

16:30～18:00 自由集会2

グローバルエイジングへの国境なき挑戦

主催者：Global Ageing Study Group: GASG 世話人：山本 秀樹、増田 研、林 玲子、田宮菜奈子

16:30～18:00 自由集会1

国際支援の在り方

主催者：伊藤 節嗣 (三重大学医学部)

示説会場 (講堂 ホワイエ)

11:00～11:20 ポスター発表4「医療政策2」

座長：明石 秀親 (国立国際医療研究センター 国際医療協力局)

- | | | |
|-------|--|---------------|
| P4-01 | インフォーマルセクターへの医療保険の適用～日本の経験とアジア諸国の取り組み～ | 明石 秀親 |
| P4-02 | Field Trip Report - Philippines | Ryuji Yoshino |
| P4-03 | 高齢タイ在留日本人のヘルスリテラシーと健康関連QOL | 伊藤 亘 |
| P4-04 | ベトナムにおける栄養制度の創設と展開 | 栗脇 啓 |

11:20～11:45 ポスター発表5「母子保健」

座長：レシャード カレッド (認定特定非営利活動法人 カレーズの会)

- | | | |
|-------|--|------------|
| P5-01 | ネパールにおける山間部と都市部との子どもの健康実態比較－筋肉量の調査結果からみる－ | 御村ひさ子 |
| P5-02 | カンボジア女性のエンパワメントおよびドメスティックバイオレンスがりプロダクティブヘルスサービスのアクセスに与える影響 | 本田 真梨 |
| P5-03 | モロッコ王国セタット県における母親学級の普及と定着、質の向上に関する活動報告 | 岩崎 千歳 |
| P5-04 | ザンビア共和国ルサカの病院における妊婦健康診査初診に関する調査 | 森 久美子 |
| P5-05 | 発展途上国で専門職の管理下で行う出産の管理の現況 ―カレーズの会の活動報告から― | レシャード カレッド |